

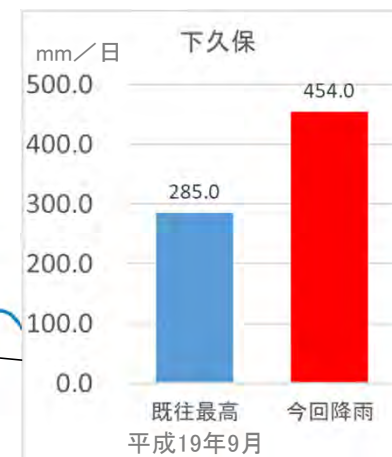
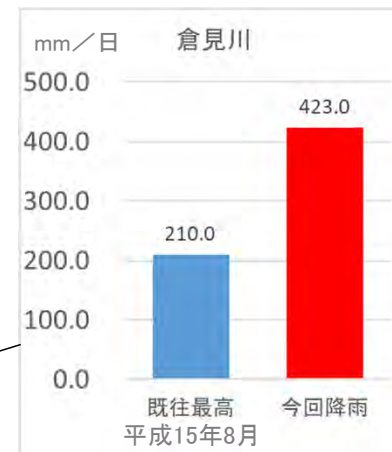
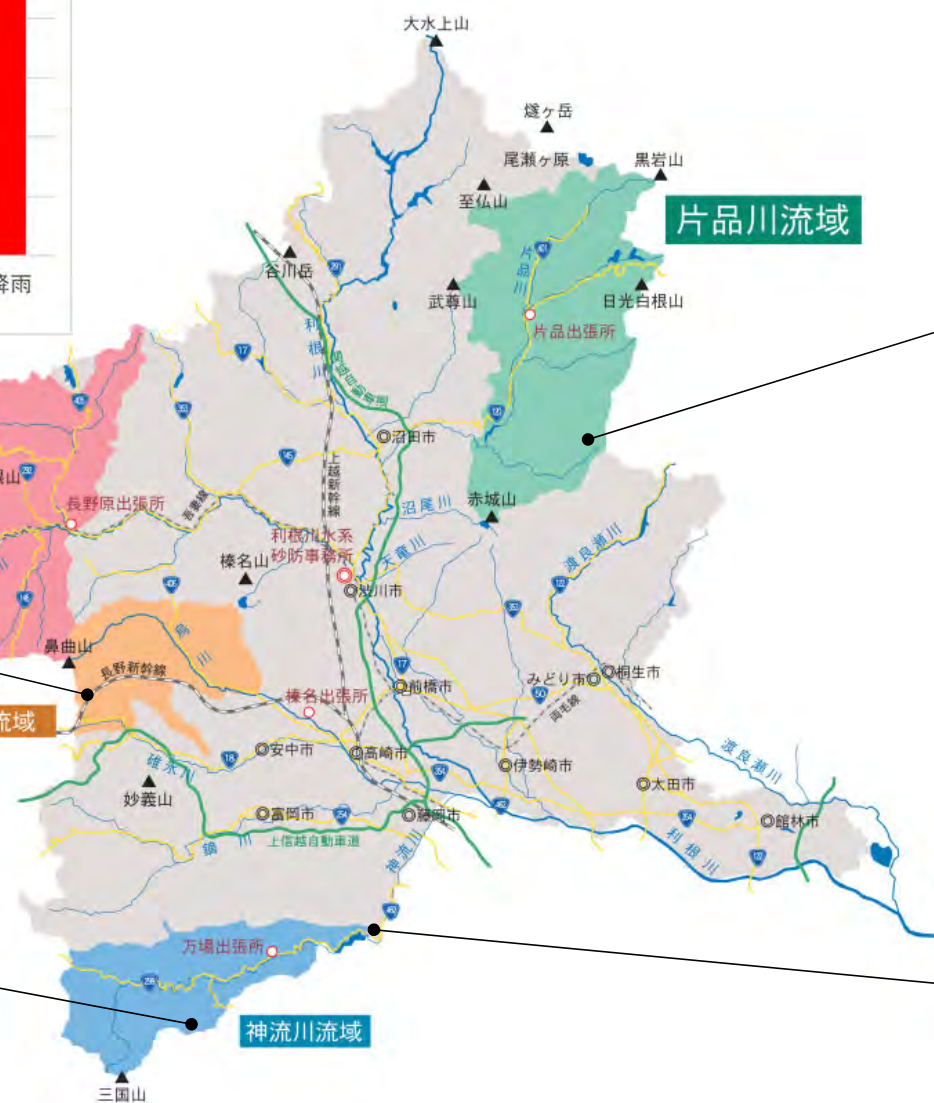
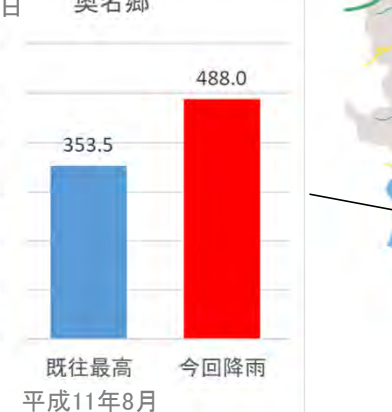
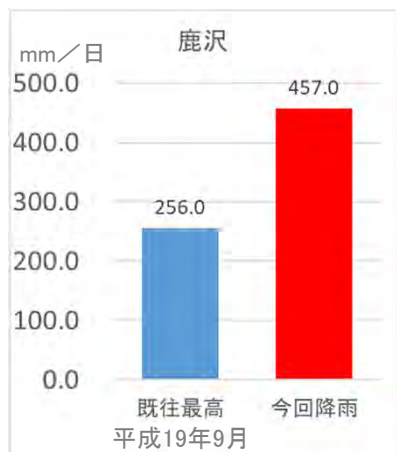
群馬県吾妻郡嬭恋村(長井川原地区)
【吾妻川での被災状況】
(令和元年10月30日撮影)

『令和元年10月台風19号(東日本台風)』 における災害対応記録



1. 雨量の状況

- 台風19号(東日本台風)の影響で、利根川水系砂防事務所管内においては**記録的な大雨**となりました。
- 各流域の**多くの観測所で既往最大の日雨量を観測した**(37観測所のうち31観測所で既往最大日雨量を観測)。



2. 被害の状況

- 利根川水系砂防事務所においては、令和元年10月12日洪水対策支部を設置。
- 翌13日より現地調査、ドローン調査、ヘリ調査を実施するとともに、各自治体と連携し被害状況の調査。
- 特に吾妻川流域、神流川流域において甚大な被害を確認しました。

嬭恋村長井川原、大笹



嬭恋村田代(田代床固群周辺)



上野村新羽(野栗沢床固群周辺) 上野村野栗沢(奥名郷)



2. 被害の状況

- 被災後、赤羽国土交通大臣や議員に視察いただきました。
- 令和元年11月2日 赤羽国土交通大臣発言
「被災者の側にたった復旧・復興に全力で取り組む。至急、国と県と力を合わせて、地元の皆様のご要望を聞きながら、復旧・復興を進めていく。」(TV放送より)
- その他多くのTVや新聞等により、復旧に向けた取り組みについて、取材を頂いています。

11月2日 赤羽国土交通大臣



10月14日 小淵衆議院議員



10月19日 中曽根参議院議員



3. 応急復旧の状況(吾妻郡嬭恋村長井川原地先)

嬭恋村大笹(長井川原地区)

- 家屋被害等が確認された嬭恋村長井川原地先において、令和元年10月28日より応急復旧工事に着手。
- 復旧にあたっては、群馬県や高崎河川国道事務所と連携。当事務所は集落保全のため、ブロック積みを実施。
- 応急復旧工事は、地元建設業者の渡辺建設株式会社、佐田建設株式会社が施工。
- 11月18日 延長100m、ブロック積み570個を設置し応急復旧が完了。

被災後



完成



11月28日

4. 関係機関との連携

孺恋村大笹(長井川原地区)

- 孺恋村大笹地先における国道144号や橋梁(鳴岩橋)の流出。
- 孺恋村、群馬県、国土交通省で連携し、床固工をはじめとした砂防施設の整備や被災した施設の復旧を行い、地域の暮らしと経済を支えます。
- 関係機関が緊密な連携を図るため、『孺恋村(吾妻川・国道144号)復旧連絡調整会議』を開催。
- 不安定土砂等の再移動により国道144号や家屋等が被災することを防ぐため、床固工等を今治水期中の完成を目処に作業を進めてまいります。

工事概要

国土交通省高度TECの助言に基づき、河床の安定及び側岸侵食防止のための工事を実施する。

- ・床固工 3基
- ・帯工 5基
- ・護岸工 394m



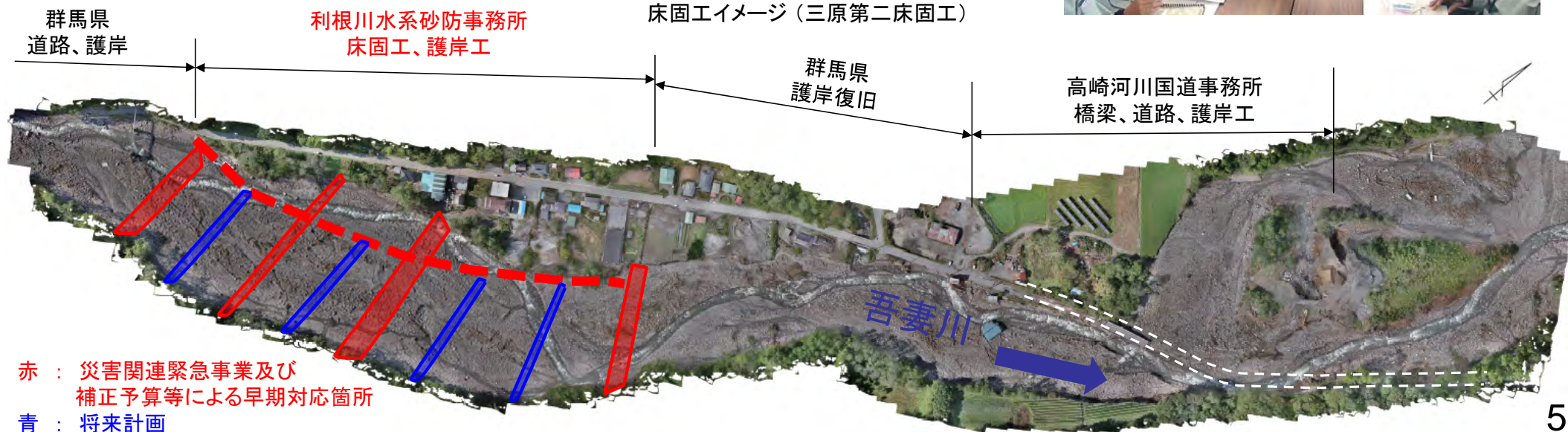
床固工イメージ(三原第二床固工)

孺恋村(吾妻川・国道144号)復旧連絡調整会議(第1回)
11月13日 群馬テレビ(県内ニュース ニュースJUST6)



復旧連絡調整会議

孺恋村



5. 直轄砂防災害関連緊急事業(大笹上流床固群)

令和元年台風第19号により群馬県嬭恋村で発生した土砂災害に対して 直轄砂防災害関連緊急事業を実施します

国土交通省砂防部
令和2年1月30日

※一部既報あり

令和元年台風第19号より利根川水系吾妻川流域において発生した土砂災害について、流域内に堆積した不安定土砂等の再移動による二次災害を防ぐための緊急的な砂防工事を実施します。

【全体事業費:約14.2億円(内訳 予備費 約8.1億円、補正 約6.1億円)】



被害概要(吾妻川流域)



床固工(コンクリートブロック)設置イメージ



強靱ワイヤーネット工設置イメージ



○令和元年台風第19号の土砂災害による被害状況 (令和2年1月30日時点)

- ・人家被害10戸、国道144号流出(鳴岩橋落橋) 等
- ・利根川水系吾妻流域において、田代 (たしろ) 観測所で連続雨量385mm※1を記録し、土石流や流木が発生し人家等に被害が発生。

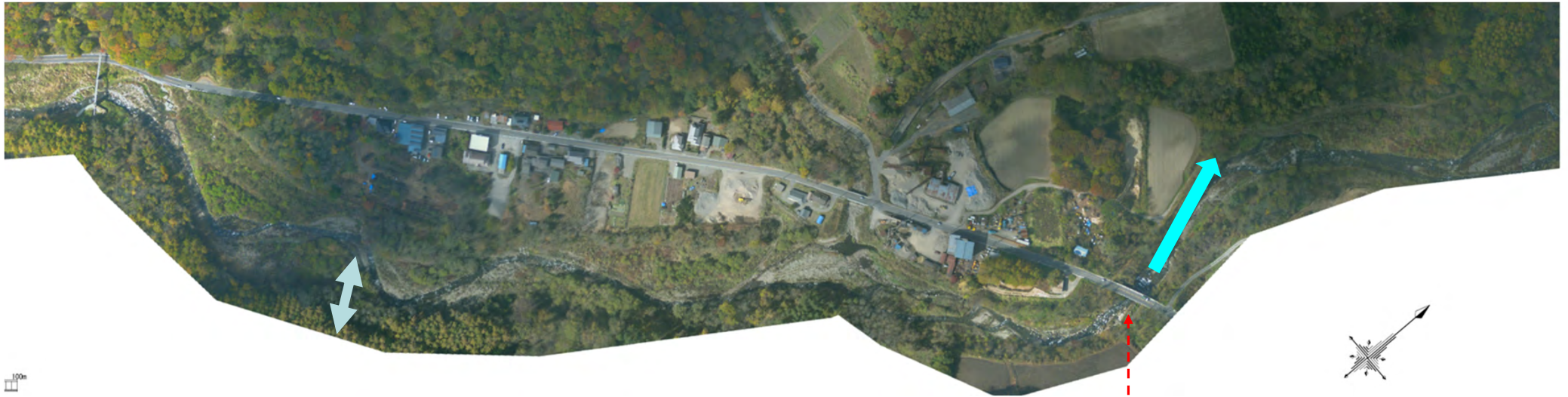
○吾妻川流域での主な対策※2

砂防堰堤工、床固工、帯工、護岸工、強靱ワイヤーネット工 等

※1 速報値であり、今後変更の可能性があります。
 ※2 現地測量等の結果によっては、施設の位置等は変更となる場合があります。

5. 直轄砂防災害関連緊急事業(大笹上流床固群)

【被災前】



【被災後】 川幅は約3倍の150m



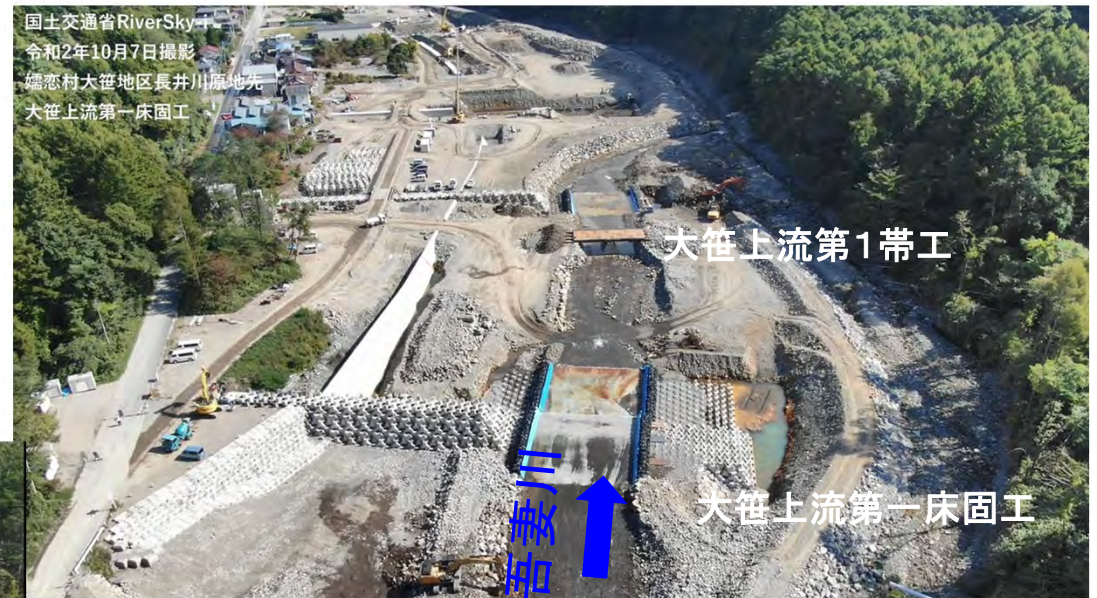
侵食により鳴岩橋下流の流路が変更

5. 直轄砂防災害関連緊急事業(大笹上流床固群:第一床固工 第1帯工)

令和元年10月(被災直後)



令和2年10月(1年後)



令和3年9月(2年後)



5. 直轄砂防災害関連緊急事業(大笹上流床固群:第二床固工 第三床固工)

令和元年10月(被災直後)



令和2年10月(1年後)



令和3年9月(2年後)



6. 「土砂災害防止功労者」を受賞

- 孺恋消防団は令和元年10月台風19号（東日本台風）において、土砂災害防止に関して顕著な功績があり、他の模範として推奨に値すると認められたため、「土砂災害防止功労者表彰（国土交通大臣表彰）」を受賞しました。

【受賞理由】

- 孺恋消防団は避難勧告を待つことなく住民へ避難を呼びかけ誘導するなど、早めの対応を行うことで地区の孤立化や人的被害を防ぎ、地域住民の安全確保に貢献したため。



孺恋消防団活動状況（災害ゴミ撤去）



利根川水系砂防事務所長

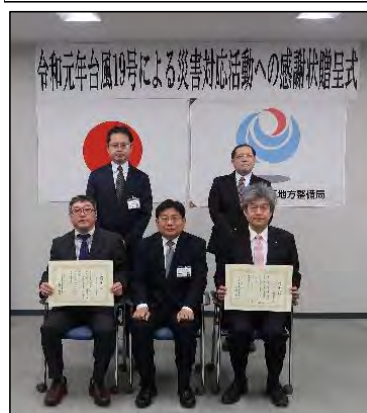
孺恋消防団
熊川団長

孺恋村
熊川村長

授与式：令和2年6月9日

7. 災害対応活動に伴う謝状贈呈式

- 令和2年2月25日及び令和3年11月22日 災害対応活動にご協力いただいた企業等に対して感謝状を贈呈。



贈呈者一覧（順不同）

- ・ 株式会社オウギ工設
- ・ 技研コンサル株式会社
- ・ 渡辺建設株式会社
- ・ 田畑建設株式会社
- ・ 宮下工業株式会社
- ・ 佐田建設株式会社

- ・ パシフィックコンサルタンツ株式会社
- ・ 朝日航洋株式会社
- ・ 株式会社パスコ
- ・ 日本工営株式会社
- ・ 砂防エンジニアリング株式会社
- ・ （一般財団法人）砂防フロンティア整備推進機構
- ・ アジア航測株式会社
- ・ 株式会社ナカノアイシステム
- ・ 国際航業株式会社
- ・ 株式会社建設技術研究所
- ・ 株式会社エイト日本技術開発
- ・ 日昌測量設計株式会社
- ・ 株式会社福田量地
- ・ 株式会社プライムプラン

- ・ 三陽技術コンサルタンツ株式会社
- ・ 株式会社ケーネス
- ・ JESCO SUGAYA株式会社
- ・ 株式会社アイ・ディー・エー
- ・ 株式会社サンテックインターナショナル
- ・ ホクト・エンジニアリング株式会社
- ・ 日本道路興運株式会社
- ・ 池原工業株式会社
- ・ 都建設株式会社
- ・ 株式会社守谷商会
- ・ 株式会社清水インダストリー
- ・ 株式会社美才治林業

8. 施工者の皆様の声 ～災害復旧の施工にあたって～

【大笹上流第一床固工・第1帯工】

渡辺建設株式会社 黒岩 久永 氏

令和元年10月12日台風19号が襲来し、次の日の光景に我が目を疑いました。私が生まれ育ってきたこの孺恋村が無残な形となっていました。私は翌日から田代、長井川原の応急復旧作業にとりかかり、令和2年1月に大笹上流床固群の施工を開始しました。それから一日でも早く施工を完成し、地域住民の方々に安心して頂きたいとの思いで毎日仕事に向かいました。

台風の災害から二年、地域住民の皆様の協力もあり、ここまで復旧が出来たことをうれしく思っています。これからも地元企業の一員として、地域の安全・安心確保に努めていきたいと思えます。

【大笹上流第二床固工】

佐田建設株式会社 狩野 健一 氏

台風19号がもたらした爪痕の被害を目の当たりにして、自然の恐ろしさを改めて感じました。生活基盤のライフラインと豊かな自然環境が容赦なく破壊され、地元住民の方々の生活に支障を与えていました。このような状況を見て、復旧することが我々業界の務めだと気持ちが奮い立ちました。

当社は、吾妻川の復旧工事を担当し、過酷な環境の中、無事完工し、復旧の一翼を担うことが出来ました。復旧工事は、継続的に行われていますが、安全安心な住環境が無事確保されることを願っております。

【大笹上流第三床固工】

株式会社守谷商会 笹井 公一 氏

緊急事態宣言の中、初めて当地を訪れた私が目の当たりにしたのは、あまりに想像を超えた被害の状況でした。当初は、どのようにして迅速に安全に工事を進めていこうかと大変悩みました。工事にあたり、国土交通省他関係者各位のご指導、また地元の皆様の温かいご協力のおかげで無事に工事を完了し、微力ながら復旧のお役に立てましたこと御礼申し上げます。この仕事の経験が、今後の私の大きな財産になるものと感謝しております。ありがとうございました。



9.『長井川原災害記念碑』設置報告

令和元年10月の台風19号(東日本台風)により**孺恋村の長井川原地区**では**甚大な被害**を受けましたが、地元の方々をはじめ、関係機関の皆様の温かいご支援とご協力により**災害復旧工事が概ね完了**しました。

この度、この災害を忘れないように、また、ご協力いただきました皆様への感謝と地域の発展を祈念して、現地に『災害記念碑』を設置しました。

これを受けて、令和4年2月21日には孺恋村役場で、熊川 栄村長をはじめ、地元の田代区長、大笹区長、長井川原地区の伍長をお招きし、利根川水系砂防事務所長から『災害記念碑』の設置についてご報告させていただきました。

長井川原地区の安全・安心な暮らしにつながることを祈念するとともに、今後も地域に根ざした砂防事業を実施してまいります。



令和元年東日本台風災害記念碑
(令和4年2月建立)

永田 利根川水系砂防事務所長 【工事経過説明】



熊川 孺恋村長【ご挨拶】

「孺恋村にとって最も大きな水害となったこの災害に対し、関係者の能力を集結し、長井川原の復旧がここまで進んだこと、地元を代表して御礼を申し上げます」との感謝のお言葉をいただきました。



長井川原地区 大笹区長 孺恋村長
事務所長 田代区長
伍長

事務所長 田代区長

10. 大笹上流床固群の整備状況





国土交通省 関東地方整備局 利根川水系砂防事務所

〒377-8566 群馬県渋川市渋川121-1
電話:0279(22)4177

ホームページURL : <https://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/>

利根川水系砂防事務所 検索 